



東京モノレールのシンボルマークが生まれ変わります！

東京モノレール株式会社(本社：東京都港区/代表取締役社長：小栗 彰 以下、東京モノレール)は、1964年9月に開業し、羽田空港アクセス路線としての役割を担うとともに沿線地域と手を携え今日まで発展して参りました。また、昨年は開業から53年を経て、おかげさまでご乗車20億人を達成することができました。

これまでの感謝を忘れずに、さらなる未来に向けて、社員一人ひとりが未来を切り拓き、しなやかな組織を目指すべく、会社のシンボルマークを刷新することとしました。新しいシンボルマークにつきましては、2018年7月頃より広く展開していきます。

1. シンボルマーク



2. シンボルマークコンセプト

“MONORAIL” に由来する「M」と「O」による構成です。

- 鋭角に尖ったブルーの「M」は上昇をイメージしており、会社の飛躍、航空便との親和性やモノレールならびに青空を表現しています。
- グリーンの「O」は、モノレールと山手線の一体感をイメージし沿線の水辺の緑地を表現しています。
- 「HANEDA」は、羽田空港と一体となった交通機関であることを表現しています。